

三条別院のご案内

三条別院に想う

▲本山の慶讃事業の五つの重点教化施策の一つに「青少年教化ひとりとお出あい」が定められていますが、今回は、五月に三条別院で行われたTERRAJAMの事務局の草間氏に執筆していただきました。

五月二十一日、三条別院にてお寺を会場にしたフェスティブイベント『TERRAJAM2023』（テラジヤム2023）を開催致しました。ご来場いただいた皆様、またご支援、ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

当日は天候にも恵まれ、本堂では三条教区有志による勤行、直江弘憲氏（第十八組長願寺住職）による法話、SLUGGER、MACHINE（横浜）、CALMGALE（富山）、GiSTA（新潟）の三組によるライブステージ、雑貨店の販売、境内ではキッチンカーの出店やストリートサッカー体験コーナーを行いました。

この『TERRAJAM2023』というイベントは「お寺で若者との出あいの場をつくる」を理念に、特に「出あい」ということに重点を置き企画されたものであり、その点においては一定の成果を上げることが出来たのではないかと思っております。

まずは「人と人との出あい」です。このイベン

真宗大谷派 三条別院

TEL : 0256-33-0007

E-mail : sungj@etsun@wmg.or.jp

トを主催した私たち「オテラノプロジェクト」（代表：第十三組願性寺 井上知法は、寺族だけではなく、寺族以外の友人たちにもプロジェクトのメンバーとして参加を呼びかけ、準備から当日の運営まで関わってもらっています。これまで私自身、寺族で企画し運営する事業には多く関わらせていただけてきましたが、今回は様々な人にも関わってもらったことよって新たな気づきも多く、刺激を受けることが出来ました。（友人たちも「楽しかった」と言ってくれており、ホッとしています）

二点目は「教えとの出あい」です。SNS等で「勤行が良かった」「法話良かった」と沢山の声を頂戴しております。正直、私自身イベントを開催するまでは「若い人はお参りしてくれるだろうか」「法話を聞いてくれるだろうか」という若者と共に聞法することへの不安や躊躇の気持ちをどこか抱えていました。しかし、熱心にお参りをし、聴聞する若い人の姿を見、その気持ちがある「思い込み」に過ぎなかったと反省するばかりです。お寺をお預かりしている身として、共に聞法していく姿勢は大切にしていきたいと改めて感じました。

ただ、イベントとしての課題も見えてきた部分もあり、その反省を次に繋げるべく、今後も「オテラノプロジェクト」として様々な企画を通して若

者と共にお寺の可能性というものを模索し続けていきたい所存です。

以上「TERRAJAM2023」の振り返りを私自身の視点で書かせていただきましたが、そもそもこのようなイベントを開催するに至った要因として、やはり三条別院の存在というものが大きかったのは言うまでもありません。「敷居の低さ」と言うと少し語弊があるかもしれませんが、三条別院が「地域に開かれた親しみやすい別院である」ということは、教区や私たちにとつてひとつのアドバンテージなのではないかと思っております。その親しみやすさは、これまでの教区の様々な教化事業や地域のイベント等、多くの人が関わりを持ち、積み上げてきたもの、また人々に「ごぼさま」として愛されてきた三条別院の歴史そのものなのでしょう。三条別院に想うこと、これからも若い人も共に聞法していくための場として開かれた別院であってほしいと願っております。

草間 朋哉氏（中越十二組 村松勝覺寺住職）



【ライブ中PAを担当する草間氏】



【開会式の正信偈】

○今回の「三条別院に想つ」は、
本間 正紹氏(第二十三組善照寺)

より「執筆いただきます。

朝の人生講座

今年の朝の人生講座のテーマは「愛別離苦」。
昨年まで、生老病死の「四苦」についてお話しいただきましたが、今年から、より具体的に「愛別離苦」「怨憎会苦」「求不得苦」「五蘊盛苦」の「八苦」について、仏教の入り口となる「苦」をテーマに続けていく予定です。

今年も蓮如上人最晩年の「夏の御文」拝読に併せ四日間の開催となり、各年代の僧侶に、自身の人生における「愛別離苦」についてお話しいただきます。三条市が推進している「共食」の一環として、参加された皆様が一緒にパンと牛乳の食事を楽しめるよう、旧御堂を開放します！別院職員もいるので、「一緒にいかがですか？」

◇日時 八月二十四日(木) ～ 二十七日(日)
午前六時 晨朝 夏の御文拝読
午前六時三十分 人生講座
引き続き 質疑応答

◇会場 三条別院本堂

◇講師



八月二十四日(木)

佐々木 友美氏(第十五組 光善寺)(青年僧侶)

八月二十五日(金)

松木 譲氏(第二十四組 専明寺)(壮年僧侶)

八月二十六日(土)

大久保 州氏(佐渡組 廣永寺)(ベテラン僧侶)

八月二十七日(日)

今泉 温資氏(往生人舎主宰)(老僧)

▲今年も中央商店街のコロナネットとコラボしたオリジナルパンと牛乳を配布します。

定例法話会の「案内」

毎月十三日の闍如上人のご命日にあわせて定例法話会を開催しております。

先月まで宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃お持ち受け事業として継続してまいりましたが、通常の日程に戻ります。

この七月から新潟教区になりますので、旧高田教区で教化部門を中心に活躍されていたお二人に、七月・九月とご法話をお願いしております。

◆七月の講師

藤島 直氏(第一組 圓照寺)



【藤島氏】

◆日時 七月十三日(木)
午後一時三十分～午後二時三十分

◇今後の講師

八月 休会 九月 森 恵成氏(第八組善巧寺)

宗祖御命日のつどい

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に「御命日のつどい」を本堂にて、日中法要と法話、その後座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。

なお、前日(二十七日)はお逮夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。

◆日時 七月二十八日(金) 午前十時より

◆会場 三条別院 本堂

◆お勤め(御命日 日中法要)

文類偈 行四句目下

念仏讃 淘五

和讃 回口 次第六首

回向 願以此功德

◎今月の法話講師

大久保 州氏(佐渡組 廣永寺)

▲『御文』一帖目をテーマにしております。
(一帖目第二通 「出家発心」)

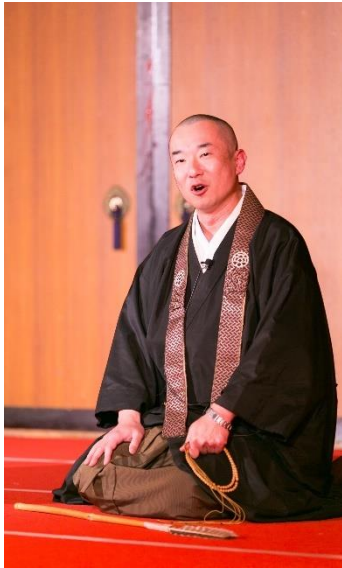
◆今後の講師一覧

- 八月 佐々木 恵一郎氏 (第十組行通寺)
九月 本多 智之氏 (第十八組 永傳寺)
十月 八田裕治氏・八田摩矢子氏 (第十七組 淨福寺)
十一月 田村 大輔氏 (第二十組 専念寺)
十二月 橋 出氏 (第十八組 久唱寺)

報恩講の法話講師が決定しました

本年のお取り越し報恩講の講師が決定いたしましたのでご報告いたします。各組で団体参拝を計画する際の参考にしてください。

- 十一月五日六日 野田 慈勝氏 (絵解き法話)
(三河すーぱー絵解き座副座長、名古屋教区第十組 正琳寺)



- 七日八日 青木 玲氏 (昨年に引き続き)
(九州教区三潯組 覺圓寺、九州大谷短期大学准教授)



中島岳志氏が三条別院に登場

昨年の安倍元首相の殺害事件以来、各種メディアに引つ張りだこの政治学者の中島岳志氏が、ご多忙の中、三条別院に来ていただきました。講題は「日本政治はどこへ向かっているのか」。混迷する日本政治をマトリクス【リスクの社会化 v s リスクの個人化 (自己責任) を x 軸、リベラル (ハト派) v s パターナル (保守) を y 軸】を使い、歴代自民党も実は立場がまったく異なり、田中角栄、大平正芳、中曽根康弘、小泉純一郎、安倍晋三がそれぞれ異なる領域にいるものとしてとらえ、現在が「リスクの個人化とパターナルの領域を押し進めている」と分析されました。この時代は、二〇〇八年の「秋葉原通り魔事件」、二〇一六年の「相模原障害者施設殺傷事件」の一連の流れで、「自己責任」の言葉で格差を生む背景が覆い隠され、姿の見えない敵からやがて恣意的な仮想敵を生んでしまった。その結果が安倍元首相の殺害事件、岸田首相を対象とした爆弾テロでこのような事件が起こると、戦前の「軍機保護法」のように権力は効率的で効果的に見せしめ的に処罰することで、民衆は「自主規制」「自己検閲」を始める。現在は戦前に非常に似た状況である。このように二時間の講義を進められました。

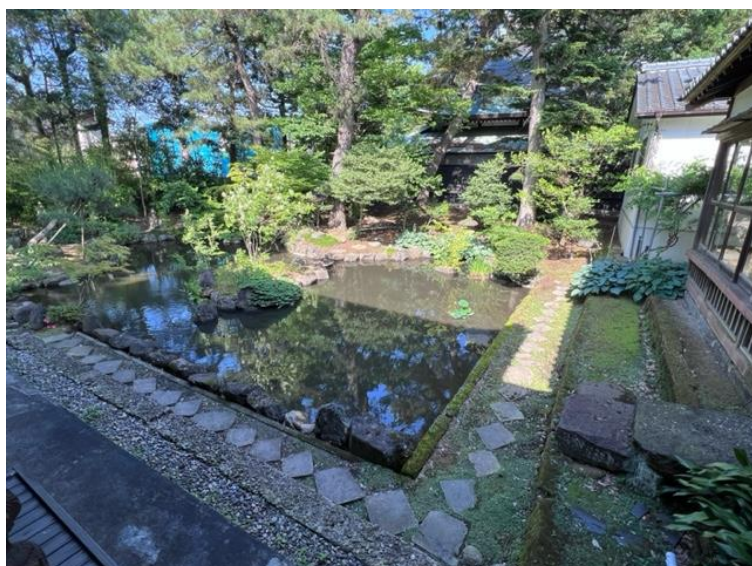
質問には「もう少し仏教との関わりを」というものがありました。テロの原因を「個人の生きづらさ」に見て、「それを生み出すような政治的な状況」に言及していく講師の論には、犯人を切り捨てるのではなく、そうせざるを得ない

までに追い込まれていくものへの仏教的な優しい視線が含まれているように感じます。昨年「利他プロジェクト」について、リモートでお話いただいた際に、「次回は絶対三条に来たい、北海道大学で教鞭をとっている時代にシャッター商店街の活性化をした経験から三条エール飯もしたい」といつていただき、今回は短い時間でしたが商店街にも立ち寄り、夕食に三条名物カレーラーメンを食べていただきました。講義の記録は三条別院 YouTube チャンネルにありますので、ぜひチャンネル登録をして、試聴してください (昨年の「利他と他力」もあります)



有志の会庭講報告

六月十三日、除草、落ち葉掃きを行いました。ぜひ、綺麗になった別院の中庭をご覧に来てください。



フードバンクを継続中

―六月の別院でのフードライブにご協力いただいた御寺院・御門徒―

第十五組 明覺寺、佐渡組 専待寺

その他、匿名含め多くの方々にご協力いただき御礼申し上げます。次回引き取り予定日は七月二十四日(月)です。

随時募集中

○別院声明教室

夜の部(午後六時〜八時)

講師 橘 宗真氏(第二十組頭了寺)

昼の部(午後二時〜五時)

講師 別院列座

開催日 八月二十一日(月)

九月十一日(月)・十月十日(火)

十一月十四日(火)・十二月十一日(月)(全五回)



○別院書道教室

【毎月第二、第四水曜日、午後六時三十分〜八時】

講師 木原 光威氏(新潟県書道協会理事)

月謝 三三〇〇円(テキスト代含む)

その他の講座案内

○有志の会庭講「毎月十三日」

ご一緒に別院のお庭を整備していきませんか?

毎月十時から、午後は定例法話を聴聞します。

お気軽にご参加ください。

○有志の金花講

花講は別院の立花を、有志の会は別院行事に併せた奉仕活動や季節ごとの懇親会を行っております。

○三条別院巡回

三条別院から御本尊(絵像)をお迎えして、開法会を開催しませんか?

○別院奉仕研修について

半日の奉仕研修等にも対応しております。

【奉仕研修加金】

一人あたり半日(午前または午後) 五百円、一日千円

一泊二日は上記の冥加金に順じて半日五百円で計算する。

【その他実費でいただくもの】

①講師謝礼。なお、列座によるお内仏のお給仕・法話は研修冥加金に含まれる。

②シート等クリーニング代千円

③食事代(要望等ございましたらご相談承ります)。

◆◆編集後記◆◆

新年度の法話講師選定が始まっている。「まず、自分は何が聞きたいのか」と廣河列座に意見を聞くと「本当は「莊嚴」について聞きたいのだが……」。本当は儀式や莊嚴について聞きたいが、門徒さんには難しい、教学については関心があるが儀式には関心が薄い人がある、マニアックすぎると言われる……等々言いたいことはわかる。

さて、江戸の元禄時代に三条別院が建立された際、東本願寺から初代輪番として長覚寺噫慶(いきょう)が派遣された。噫慶は儀式の専門家の堂衆であり、同時に教学を担う学寮の主導的立場にあった。御存知の通り、三条別院の建立の由来は「小児往生」理解をめぐる佛光寺派へ転派する寺院が頻出する大混乱を収めるためであった。それを考えると、そもそも儀式と教学についての専門家でなければ対応できなかったであろう。

何が言いたいかというと、儀式と教学と分かれてくるその根本のところ、仏教すらも私たちの分別が二に分ける瞬間の、その根本のところを、丁寧に聞いていきたいということである。余計に分かりにくい。でも聞きに来てください。

(齋木)